

第7節 研究開発及び調査研究の充実

1 鉄道の安全に関する研究開発の推進

ア 気象庁気象研究所等の研究

鉄道交通の安全に寄与する気象情報等の精度向上を図るため、気象庁気象研究所を中心に、第1編第1部第2章第8節1ウで述べた研究等、気象・地象・水象に関する基礎的及び応用的研究を行った。

イ 独立行政法人交通安全環境研究所の研究

より安全性の高い鉄道システムの実現を図るため、施設、車両、運転などに関する新技術の評価及び導入効果に関する試験・研究を行った。また、安全度の高い新しい交通システムの実用化を促進するため、安全性、信頼性評価のための試験・研究を行った。

2 鉄道事故等の原因究明のための総合的な調査研究の推進

鉄道事故及び鉄道事故の兆候(重大インシデント)の原因究明を迅速かつ適確に行うため、各種記録装置から得られた記録の分析等、過去の事故調査で得られたノウハウや各種分析技術及び事故分析結果等のストックを活用することにより総合的な調査研究を推進している。